

市長会見の項目（概要）

と き：令和2年2月6日(木) 14:00～

ところ：市政記者室

■ 大阪中之島美術館の運営事業（PFI コンセッション方式）にかかる優先交渉権者及び館長が決定しました

＜担当：経済戦略局文化部文化課博物館支援担当 電話：06-6469-5180＞

【フリップあり】

- ◆ 大阪の都市魅力を世界に発信し、高い話題性と集客力を備えた中之島のまちづくりに貢献する施設として令和3年度（2021年度）中に大阪中之島美術館を開館する。
- ◆ 「顧客目線を重視した利用者サービスに優れたミュージアム」というコンセプトの実現や、これまでにない新たな魅力を持った施設をめざし、民間事業者が経営に直接携わることで創意工夫が最大限に発揮できる「PFI コンセッション方式」を、美術館としては全国で初めて導入することとし、管理者である大阪市博物館機構が事業者公募を進めてきた。
- ◆ このたび、運営権者の候補として、「株式会社朝日ビルディング」を優先交渉権者に選定した。
- ◆ 当事業者から、映画祭やコンペティションなどの高い話題性が期待できるイベントや、上質なレストランやカフェなどの集客力向上につながるサービス施設の提案があり、また、光の饗宴を始めとしたエリアプロモーションなど、中之島に有するネットワークを活用した大阪中之島美術館がこれから大きく発展していくにふさわしい内容が数多く盛り込まれており、民間ならではのノウハウが活かされた、発信力のある魅力的な美術館運営が期待できる。
- ◆ 事業期間については、実施契約締結日から令和19年（2037年）3月31日までで、開館後は多くの方にお越しいただける、大阪の新しいシンボルとなる美術館をめざす。
- ◆ また、現在、大阪中之島美術館の準備室長を務めている「菅谷 富夫（すがや とみお）」氏を初代館長に決定した。
- ◆ 菅谷氏は、平成4年（1992年）に学芸員として市立近代美術館建設準備室に配属されて以降、近代デザインや現代美術などの分野を専門として展覧会や評論活動を行うとともに、美術館の整備を統括してきた経歴を持っており、館長に適任の人材である。
- ◆ 館長は学芸員とともに、PFI 事業者に出向し、事業者と一体となって双方のノウハウを活かしながら、これまでの知見を発揮した魅力的な展覧会を開催するなど、大阪中之島美術館をしっかりとリードしてもらう。
- ◆ 大阪市博物館機構では、2月27日に菅谷館長が、大阪中之島美術館のシンボルマーク等の発表を行う。
- ◆ 今後、令和3年度（2021年度）の開館をめざして、開館に向けた準備を着実に進めていく。